

---

---

# VARICAM ROP 操作ガイド

## 内容

---

---

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| ■はじめに .....                       | 2  |
| ■コントロールパネル操作 .....                | 9  |
| ■HOME 画面 .....                    | 12 |
| ■TC 画面 .....                      | 14 |
| ■INFO 画面 .....                    | 16 |
| ■FPS 画面 .....                     | 18 |
| ■COLOR 画面 .....                   | 21 |
| ■Slope(CDL)画面 .....               | 22 |
| ■LOAD / SAVE(CDL)画面 .....         | 24 |
| ■ファイル名入力(CDL)画面 .....             | 25 |
| ■SHUTTER 画面 .....                 | 27 |
| ■EI 画面 .....                      | 31 |
| ■SYSTEM MODE 画面 .....             | 33 |
| ■CAM INDEX & REEL CNT 画面 .....    | 35 |
| ■DAILIES 画面 .....                 | 37 |
| ■CHAR EDIT 入力(WATER MARK)画面 ..... | 38 |
| ■AUDIO 画面 .....                   | 40 |
| ■USER SWITCHES 画面 .....           | 43 |
| ■WHITE 画面 .....                   | 46 |
| ■SIX USER BUTTONS 画面 .....        | 51 |

## ■はじめに

---

### ■接続手順

本アプリケーションをお使いになるには、カメラレコーダーの設定と iOS デバイスの設定が必要です。

### カメラレコーダーの設定

---

カメラレコーダーの取扱説明書を参照して、以下の設定を行ってください。

カメラレコーダーの機種によっては、設定項目の名称が異なっている場合があります。

#### ユーザーアカウント名、パスワードの設定

- ・[PERIPHERAL] → [NETWORK FUNC] → [USER ACCOUNT] でユーザーアカウント名およびパスワードを設定

#### <Note>

工場出荷値ではユーザーアカウント名 guest、パスワード p2guest が登録済です。

#### ワイヤレス LAN 設定

- ・[PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY] → [TYPE] を [DIRECT] に設定して、[WIRELESS PROPERTY]の各項目を必要に応じて設定
- ・[PERIPHERAL] → [NETWORK SEL] を [WLAN] に設定

#### 有線 LAN 設定

- ・[PERIPHERAL] → [LAN PROPERTY]の各項目をお使いのネットワーク環境に合わせて設定
- ・[PERIPHERAL] → [NETWORK SEL]を [LAN] に設定

#### <Note>

ネットワーク環境により、通信が不安定になることがあります。この場合、VARICAM ROP アプリがカメラレコーダーと正しく通信できないことがあります。

ネットワーク環境が iOS デバイスとカメラレコーダーだけの場合はカメラレコーダーの[WIRELESS PROPERTY]または[LAN PROPERTY]で[DHCP SERVER]を[ENABLE]に設定して iOS デバイスに IP アドレスを付与できるようにします。

## iOS デバイスの設定

必要に応じて、iOS デバイスで本アプリケーションの設定を行ってください。

1. iOS デバイスのホーム画面で [設定] を選択する。
2. 設定画面左の一覧で [VARICAM ROP] を選択する。
3. 本アプリケーションの設定画面が表示されるので、必要に応じて設定を行う。

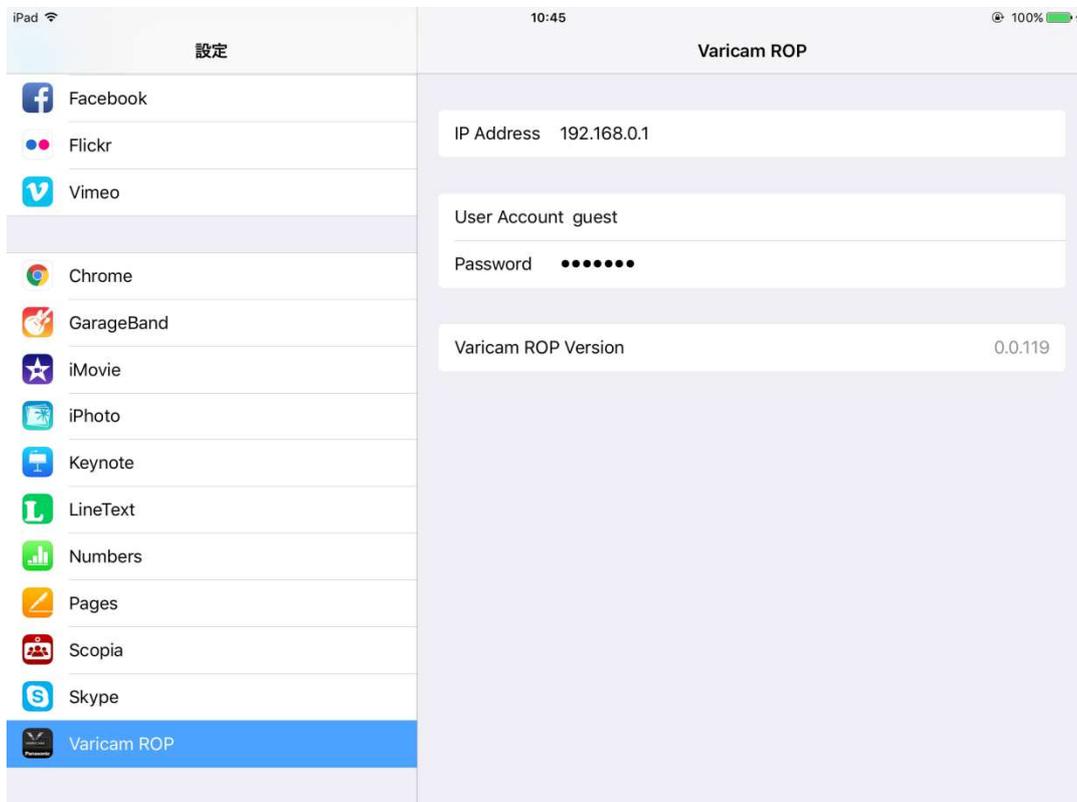


図 1 VARICAM ROP 設定画面

### ・IP Address

カメラレコーダーで設定されている IP アドレスを入力する。

(カメラレコーダーの[PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY] → [IP ADDRESS] の値)

<Note>

カメラレコーダーの[PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY] → [DHCP SERVER]が [ENABLE]の場合は設定不要です。

### ・User Account

カメラレコーダーで設定されているユーザーアカウント名を入力する。

<Note>

User Account が空欄の場合は、guest が入力されたものとして扱われます。

・Password

カメラレコーダーで設定されているパスワードを入力する。

<Note>

Password が空欄の場合は、p2guest が入力されたものとして扱われます。

■対応 OS および機種

対応している iOS および機種は次のとおりです。

対象機器:iPad , iPhone

対応OS:iOS 10.x 以降

推奨機器:iPad Air 2, iPad mini 4, iPhone 7, iPhone 7 Plus

## カメラレコーダーとの接続

---

### ■ワイヤレス LAN 接続

本アプリケーション起動前に、カメラレコーダーと iOS デバイスを Wi-Fi で接続してください。

1. iOS デバイスのホーム画面で [設定] を選択する。
2. [Wi-Fi] の 設定を開き、[Wi-Fi] を ON に設定する。
3. 検出された Wi-Fi 機器の一覧から、カメラレコーダー([PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY] → [SSID] の値)を選択する。
4. パスワード入力画面が表示された場合は、カメラレコーダーで設定されている Wi-Fi パスワード ([PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY] → [ENCRYPT KEY] の値)を入力する。
5. 接続が行われたことを確認する。

### ■有線 LAN 接続

本アプリケーション起動前に、カメラレコーダーと iOS デバイスを LAN ケーブルで接続してください。

1. iOS デバイスのホーム画面で [設定] を選択する。
2. [Ethernet] の 設定項目が表示されていることを確認する。
3. [Ethernet] の 設定を開き、IP アドレスがお使いのネットワーク環境にしていることを確認する。

### <Note>

- ・本アプリケーションで複数のカメラレコーダーを同時に操作することはできません。
- ・同じカメラレコーダーに対して、本アプリケーションを複数起動して同時操作することはできません。
- ・AK-HRP200 などのネットワークを使った他のコントローラと同時に操作することはできません。
- ・iOS デバイスとカメラレコーダーを有線 LAN で接続するときは、iOS デバイスに有線 LAN 接続可能なアダプタを取り付ける必要があります。

## カメラレコーダーからの切断

---

### ■ワイヤレス LAN 接続

カメラレコーダー単体で使用する場合は、カメラレコーダーと iOS デバイスの Wi-Fi 接続を切断してください。

1. iOS デバイスの HOME ボタンを押して本アプリケーションを終了する。  
(カメラレコーダーのリモートコントロールモードが解除されます)
2. iOS デバイスのホーム画面で [設定] を選択する。
3. [Wi-Fi] の 設定を開き、[Wi-Fi] を OFF に設定する。

### ■有線 LAN 接続

カメラレコーダー単体で使用する場合は、カメラレコーダーと iOS デバイスの LAN ケーブル接続を外してください。

## エラーメッセージ表示について

本アプリケーション起動中、または操作中にエラーメッセージが表示された場合、以下の対処を行ってください。

1. 下記エラーメッセージの記載内容に従って確認を行う。
2. iOS デバイスの HOME ボタンを押して HOME 画面に戻った後、本アプリケーションを起動する。
3. 手順 2 を行ってもエラーメッセージが表示される場合、本アプリケーションを完全に終了させる (iOS デバイスの HOME ボタンを 2 回押すと起動中のアプリ一覧が表示されるので、本アプリケーションの画面を上へフリックする)。

iOS デバイスの HOME ボタンを押して HOME 画面に戻り、本アプリケーションを起動する。

### "Network Error Please restart"

#### 原因

- ・カメラレコーダーとの Wi-Fi 接続が行われていない。
- ・カメラレコーダーがアプリに対応していないソフトウェアバージョンである。
- ・カメラレコーダーとの接続処理に問題がある。

#### 確認

- ・カメラレコーダーの電源が入っていることを確認してください。
- ・カメラレコーダーと iOS デバイスが Wi-Fi で接続されているか確認してください。
- ・iOS デバイスのネットワークアドレスが正しく取得されているか確認してください。
- ・カメラレコーダーのソフトウェアバージョンがアプリに対応したものか確認してください。  
VARICAM 35/HS : バージョン番号 7.00-00-0.00 以降  
VARICAM PURE : バージョン番号 7.10-00-0.00 以降  
VARICAM LT : バージョン番号 22.27-00-0.00 以降
- ・iOS デバイスの本アプリケーション設定、カメラレコーダーの接続設定が正しいことを確認してください。
- ・上記すべてに問題なければ iOS デバイスおよびカメラレコーダーの電源を一度 OFF にして再度それぞれの電源を ON にして接続手順を実施してください。

### "Unsupported Device!"

#### 原因

- ・VARICAM シリーズ以外のカメラレコーダーと接続した。

#### 確認

- ・Wi-Fi 接続先が VARICAM シリーズのカメラレコーダーであることを確認してください。
- ・IP Address 設定がカメラレコーダーの INFO 画面で表示されるアドレスになっていることを確認してください。

### "Protocol Version Mismatch!"

#### 原因

- ・カメラレコーダーがアプリに対応していないソフトウェアバージョンである。

### 確認

- ・カメラレコーダーのソフトウェアバージョンがアプリに対応したものか確認してください。
- ・カメラレコーダー、VARICAM ROP アプリを最新バージョンに揃えてください。

### "Wrong User"

#### 原因

- ・カメラレコーダーに登録されていない User Account が指定された。

#### 確認

- ・VARICAM ROP アプリの User Account 設定がカメラレコーダーの USER ACCOUNT で登録されたユーザーアカウント名に一致しているか確認してください。

### "Authentication Failed"

#### 原因

- ・カメラレコーダーに登録されているユーザーアカウントのパスワードと異なるパスワードが指定された。

#### 確認

- ・VARICAM ROP アプリの Password 設定がカメラレコーダーの USER ACCOUNT で登録したパスワードに一致しているか確認してください。

### "Wi-Fi connection was disconnected"

#### 原因

- ・カメラレコーダーとの接続が切断された。

#### 確認

- ・カメラレコーダーの電源が OFF になっていないか確認してください。
- ・カメラレコーダーとの距離が離れすぎているか確認してください。

#### <Note>

周囲の無線機器などの電波干渉により安定した通信が行えない場合も通信エラーになることがあります。

設置場所や無線チャンネルの変更で改善する可能性があります。

無線チャンネルの変更はカメラレコーダーの[PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY]の[CHANNEL]設定で行います。

### "Communication Busy!"

#### 原因

- ・カメラレコーダーが制御を受け付けできない状態にある。

#### 確認

- ・カメラレコーダーのコントロールパネルで一部のメニュー設定中などは VARICAM ROP アプリからの制御を受けることができないことがあるため、カメラレコーダーで HOME または VIEW ボタンを押して設定画面を抜けてから再度 VARICAM ROP で操作を行ってください。

### "Communication Error!"

### "Remote Setting Mode Off"

#### 原因

- ・カメラレコーダーとの通信に失敗している。

#### 確認

- ・カメラレコーダーの電源が OFF になっていないか確認してください。
- ・カメラレコーダーとの距離が離れすぎているか確認してください。
- ・上記すべてに問題なければ iOS デバイスおよびカメラレコーダーの電源を一度 OFF にして再度それぞれの電源を ON にして接続手順を実施してください。

#### <Note>

周囲の無線機器などの電波干渉により安定した通信が行えない場合も通信エラーになることがあります。

設置場所や無線チャンネルの変更で改善する可能性があります。

無線チャンネルの変更はカメラレコーダーの[PERIPHERAL] → [WIRELESS PROPERTY]の[CHANNEL]設定で行います。

### "Not Supported"

#### 原因

- ・カメラレコーダーが設定変更を受け付けできない状態にある。

#### 確認

- ・HIGH SPEED モード中に VFR を OFF にしようとする操作のようにカメラレコーダーの設定または動作状態により特定の設定の変更に制限がかかることがあります。
- 本体コントロールパネルでできない設定は VARICAM ROP でも行うことはできません。

### "Phase Error"

#### 原因

- ・カメラレコーダーが VARICAM ROP と正しく通信できません。
- ・カメラレコーダーが VARICAM ROP に対応していません。

#### 確認

- ・ネットワーク接続先が VARICAM ROP に対応した VARICAM シリーズのカメラレコーダーになっているか確認してください。

## ■コントロールパネル操作

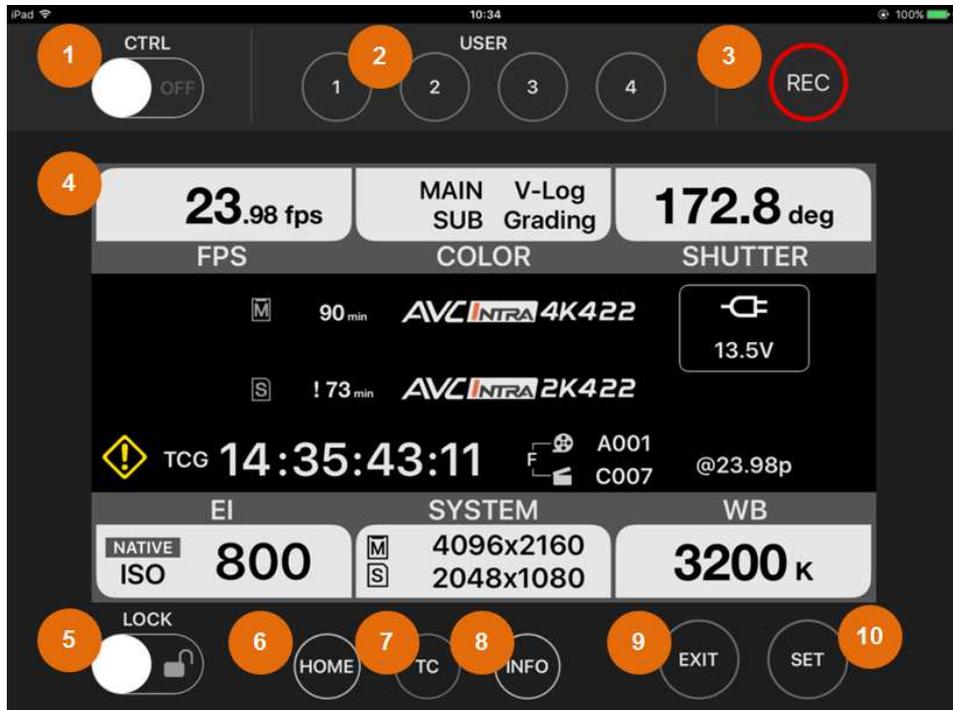


図 2 VARICAM ROP 基本画面

VARICAM ROP アプリのカメラレコーダーとの接続が成功した直後の画面です。上下エリアには各種操作ボタン、画面中央には接続したカメラレコーダーのHOME画面と同等の情報を表示します。

## 1. CTRL スイッチ

タップするとカメラレコーダーが VARICAM ROP アプリからのコントロールをできるようにしたり、またはコントロール状態からの解除を行うことができます。



ON 状態の表示



OFF 状態の表示

<Note>

カメラレコーダーの状態によってはコントロールを受け付けない場合があります。

各状態では VARICAM ROP アプリおよびカメラレコーダーそれぞれに操作制限が発生します。

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| ON 状態における<br>カメラレコーダー制限         | USER1~4、LENS RET (VARICAM HS のみ)、PLAY、TC、MENU ボタン無効<br><br>SHUTTER、EI、WB トグルスイッチ無効<br><br>HOME 画面の FPS、COLOR、SHUTTER、EI、SYSTEM、WB 操作無効<br><br>INFO 画面のバージョンアップ、ネットワーク設定変更、HISTORY、フォーマット操作無効 |
| OFF 状態における<br>VARICAM ROP アプリ制限 | USER1~4、TC ボタン無効<br><br>HOME 画面の FPS、SHUTTER、EI、SYSTEM、WB 操作無効<br><br>COLOR 画面の操作無効  |

周囲の無線機器などの電波干渉により安定した通信が行えない場合、自動的に CTRL-OFF になることがあります。

## 2. USER ボタン

カメラレコーダーの USER1~4 ボタン相当の動作を行うボタンです。

タップ操作で割り当てられた機能を実行します。

VARICAM LT では USER4 はカメラレコーダーでサポートされていないため表示されません。

<Note>

SIX USER BUTTONS、AUDIO MON VOL、AUDIO IN VOL、AUDIO MONITOR CH が割り当てられている場合は、VARICAM ROP アプリの UI で各画面を表示します。

VARICAM LT の DIRECT VOL CTRL など ROP アプリから制御できない機能も存在します。

## 3. REC ボタン

タップすると、カメラレコーダー本体で記録の開始/停止を行います。

<Note>

記録モードが ONE SHOT REC で記録一時停止中のタップは記録再開、ロングタップで記録停止を行います。

### 4. コントロールパネル画面表示

---

カメラレコーダーの状態や設定画面の表示を行う領域です。

VARICAM ROP アプリではカメラレコーダーの HOME、TC、INFO 各画面相当の表示および設定操作が可能です。

画面内の各パーツをタップ、スワイプ操作することで画面遷移や設定操作を行うことができます。

### 5. LOCK スイッチ

---

ON にすると、VARICAM ROP アプリ画面上での操作をすべて無効にします。



OFF 状態の表示



ON 状態の表示

<Note>

カメラレコーダー本体の LOCK スイッチとは連動していません。

### 6. HOME ボタン

---

VARICAM ROP アプリのコントロールパネル画面上で HOME 画面に移動します。

### 7. TC ボタン

---

VARICAM ROP アプリのコントロールパネル画面上で TC 画面に移動します。

### 8. INFO ボタン

---

VARICAM ROP アプリのコントロールパネル画面上で INFO 画面に移動します。

### 9. EXIT ボタン

---

VARICAM ROP アプリのコントロールパネル画面の操作中にキャンセルして前の画面に戻ります。

### 10. SET ボタン

---

VARICAM ROP アプリのコントロールパネル画面の操作で決定動作を行います。

## ■HOME 画面

カメラレコーダー本体の各種情報を表示します。

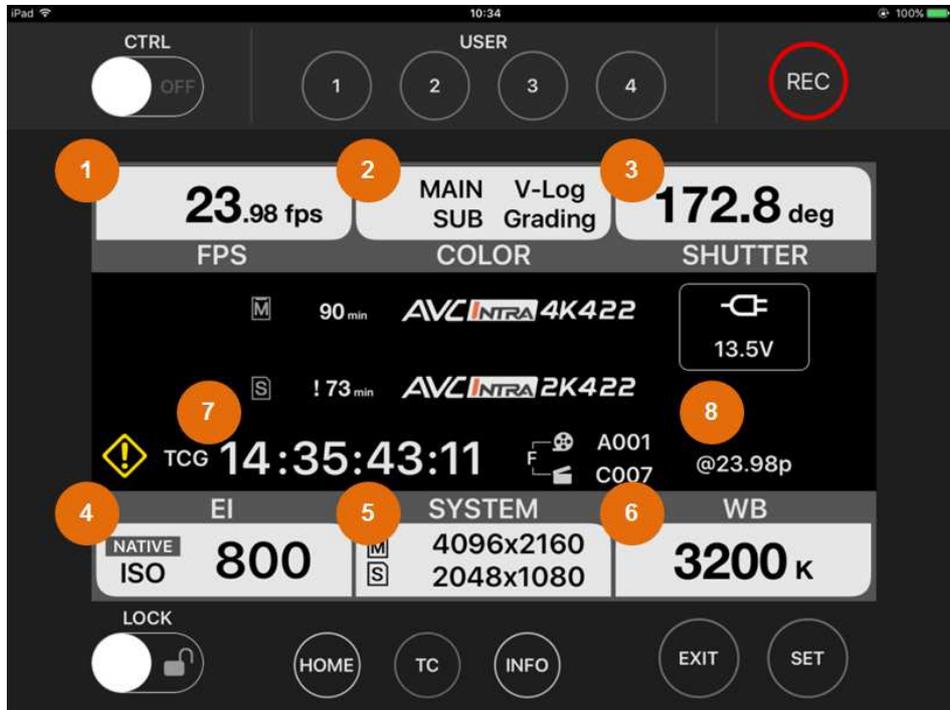


図 3 HOME 画面

<Note>

表示する情報はカメラの変化に対して少し遅れて更新されることがあります。

### 1. FPS 情報表示エリア

タップすると FPS 画面に遷移して設定変更が可能です。

<Note>

VFR 設定が使えないカメラレコーダーの設定のときは FPS 画面に遷移しません。

### 2. COLOR 情報表示エリア

タップすると COLOR 画面に遷移して設定変更が可能です。

### 3. SHUTTER 情報表示エリア

タップすると SHUTTER 画面に遷移して設定変更が可能です。

### 4. EI 情報表示エリア

タップすると EI 画面に遷移して設定変更が可能です。

## 5. SYSTEM 情報表示エリア

---

タップするとSYSTEM画面に遷移して設定変更が可能です。

## 6. WHITE 情報表示エリア

---

タップするとWHITE画面に遷移して設定変更が可能です。

## 7. タイムコード情報表示エリア

---

カメラレコーダーのタイムコードジェネレータの値を表示します。

<Note>

カメラレコーダーの設定でコントロールパネルの表示をUBまたはDURATIONに設定していても、VARICAM ROP アプリでは常にタイムコードを表示します。

値が変化しているときはカメラレコーダーと完全には同期していません。

VFR 記録中など実時間と異なる進み方でタイムコードが変化しているときは正確に表示されません。

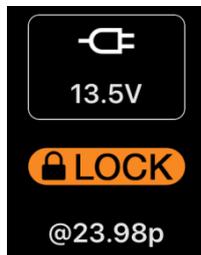
VFR 記録中は、約2秒ごとに表示が更新されます。

## 8. LOCK 情報表示エリア

---

VARICAM ROP アプリのLOCK状態を表示します。

VARICAM ROP アプリのLOCKスイッチがONのときにLOCKアイコンを表示します。



LOCK アイコン表示

<Note>

カメラレコーダーのLOCKスイッチの状態表示ではありません。

## ■TC 画面

カメラレコーダー本体のタイムコードジェネレータ設定を行う画面です。

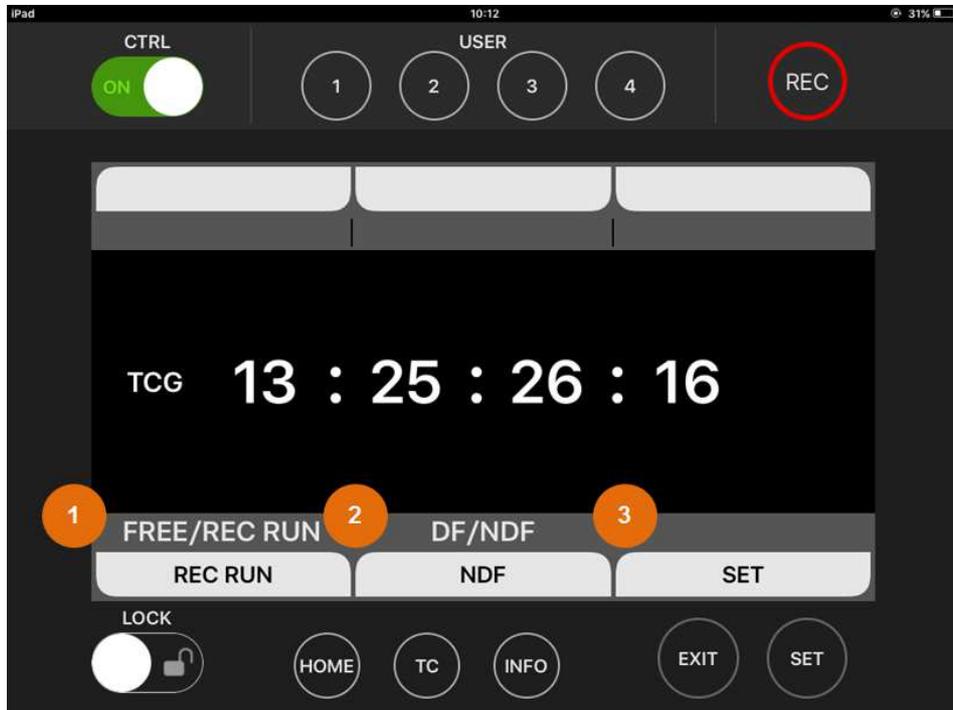


図 4 TC 画面

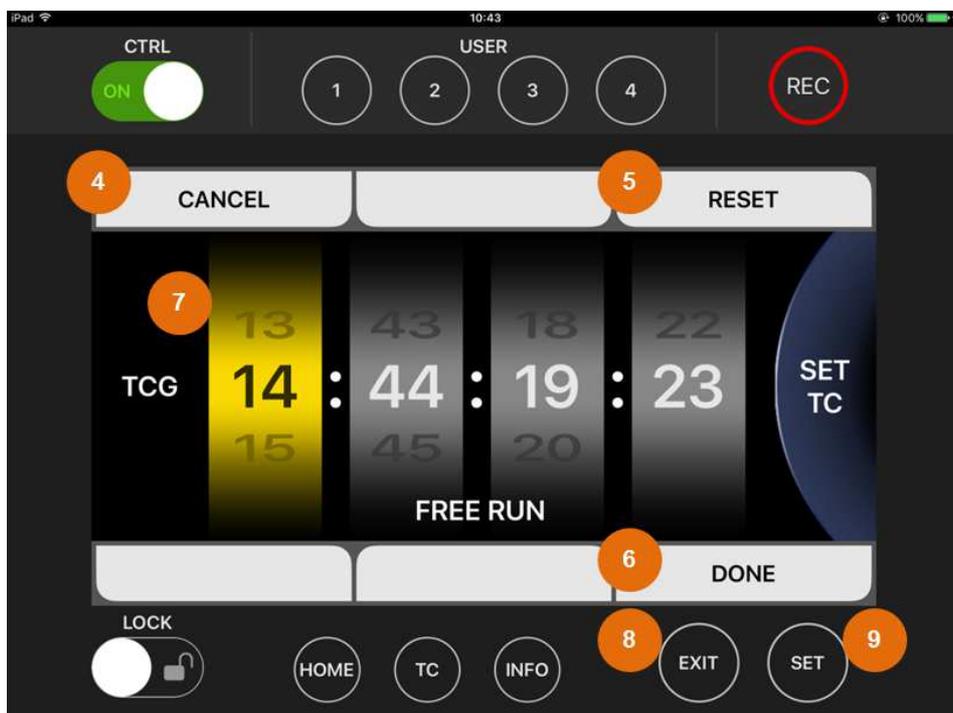


図 5 TC-SET 画面

## 1. FREE/REC RUN

---

タップするとフリーランとレックランを切り替えます。

## 2. DF/NDF

---

ドロップフレームとノンドロップフレームの設定が可能なおきのみ表示、タップによる切り替えができます。

## 3. SET

---

タップするとタイムコードジェネレータの値の設定画面(TC-SET 画面)に移動します。

## 4. CANCEL

---

タップすると設定をキャンセルして TC 画面に戻ります。

## 5. RESET

---

タップすると TC-SET 画面のタイムコードジェネレータの値を 00:00:00:00 に変更します。

## 6. DONE

---

タップすると設定を確定して TC 画面に戻ります。

## 7. タイムコードジェネレータ値

---

設定を変更したい桁をタップすることで変更対象の桁を移動します。

上下スワイプにより変更対象の桁の値を変更します。

## 8. EXIT ボタン

---

タップすると設定をキャンセルして TC 画面に戻ります。

## 9. SET ボタン

---

タップすると変更対象の桁を右に移動します。

変更対象が右端のフレーム桁のときは設定を確定して TC 画面に戻ります。

## ■INFO 画面

カメラレコーダー本体の各種情報表示を行う画面です。



図 6 INFO 画面

<Note>

表示する情報はカメラの変化に対して少し遅れて更新されることがあります。

### 1. DIAGNOSTICS

タップするとワーニング、AUDIO 設定などの表示を行います。

### 2. SWITCHES

タップすると各 USER ボタンに割り当てられたスイッチ情報を一覧表示します。

<Note>

VARICAM ROP で操作対象外の LENS RET SW (VARICAM HS) や USER TOGGLE、USER GRIP1、USER GRIP2 (VARICAM LT) については表示しません。

### 3. VERSION

タップするとカメラレコーダーのファームウェアバージョンを表示します。

### 4. PERIPHERAL

タップするとカメラレコーダーのネットワーク設定を表示します。

## 5. MEDIA

---

タップするとカメラレコーダーの記録メディアに関する情報を表示します。

<Note>

VARICAM 35/HS における SD CARD 情報は表示されません。

## ■FPS 画面

カメラレコーダー本体のバリエブルフレームレート設定を行う画面です。

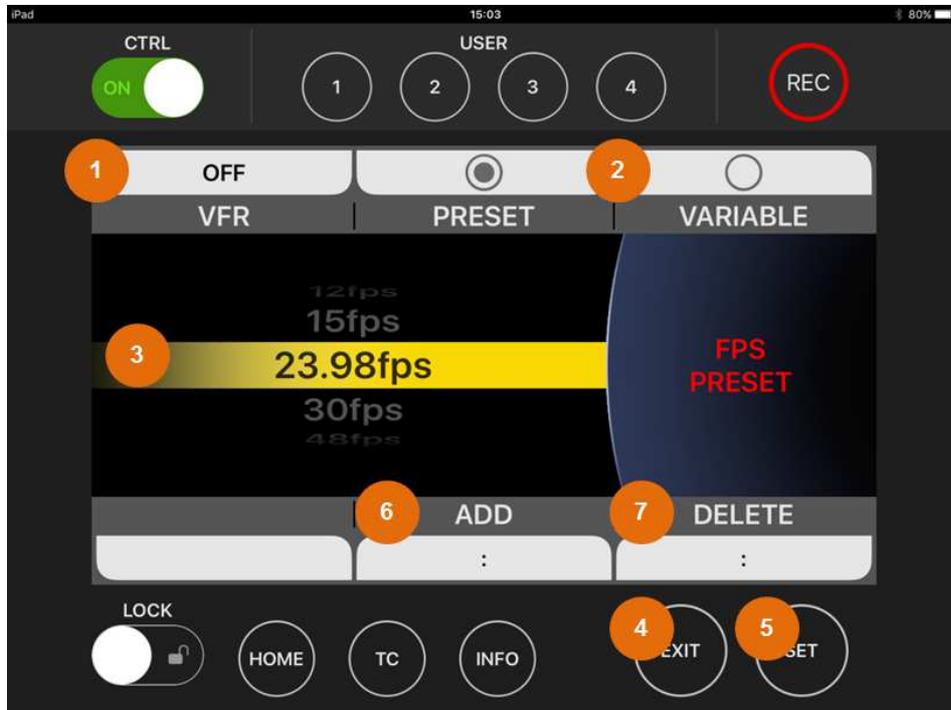


図 7 FPS 画面



図 8 FPS ADD 画面

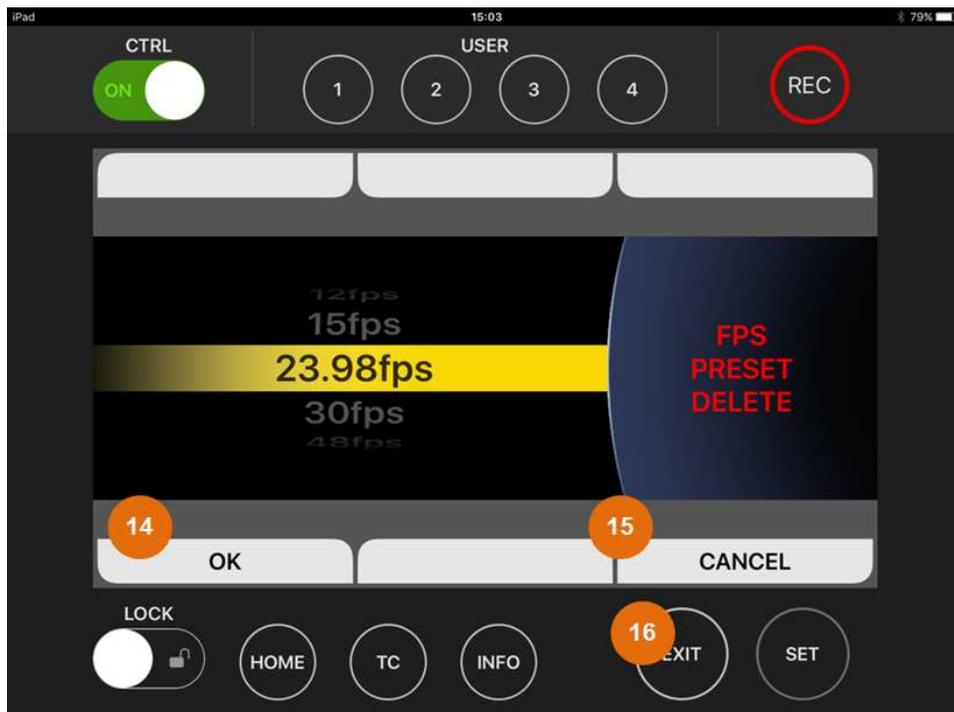


図 9 FPS DELETE 画面

## 1. VFR

タップするとバリエーションフレームレートの ON、OFF を切り替えます。

## 2. PRESET / VARIABLE (VARICAM 35/HS のみ)

タップするとフレームレートの選択モードを切り替えます。

<Note>

VARICAM ROP では VARIABLE モードでのフレームレート選択動作には対応していません。

## 3. フレームレート値

上下スワイプでフレームレートを選択します。

ダブルタップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

<Note>

スワイプによる選択変更の時点ではカメラレコーダーの設定は変化しません。

カメラレコーダーの設定が変化するのはダブルタップまたは SET ボタンによる確定後です。

## 4. EXIT ボタン

タップすると HOME 画面に戻ります。

---

## 5. SET ボタン

タップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

---

## 6. ADD

タップすると FPS の ADD 画面に移動します。

---

## 7. DELETE

タップすると FPS の DELETE 画面に移動します。

---

## 8. MAX/MIN

タップすると FPS の ADD 候補の値を最大値→最小値でトグルします。

---

## 9. ±TENS

タップすると FPS の ADD 候補の値を±10します。

該当値が存在しない場合は近似値に丸めます。

---

## 10. ADD フレームレート値

ダブルタップすると FPS の ADD 操作を確定して FPS 画面に戻ります。

---

## 11. ADD フレームレート微調整ボタン

タップすると FPS の ADD 候補の値を一つ前または後の値に変更します。

---

## 12. EXIT ボタン

タップすると ADD 操作をキャンセルして FPS 画面に戻ります。

---

## 13. SET ボタン

タップすると FPS の ADD 操作を確定して FPS 画面に戻ります。

---

## 14. OK

タップすると FPS の DELETE 操作を確定して FPS 画面に戻ります。

---

## 15. CANCEL

タップすると FPS の DELETE 操作をキャンセルして FPS 画面に戻ります。

---

## 16. EXIT ボタン

タップすると FPS の DELETE 操作をキャンセルして FPS 画面に戻ります。

## ■COLOR 画面

カメラレコーダー本体の COLOR 設定(ガンマおよびガンマット)を行う画面です。

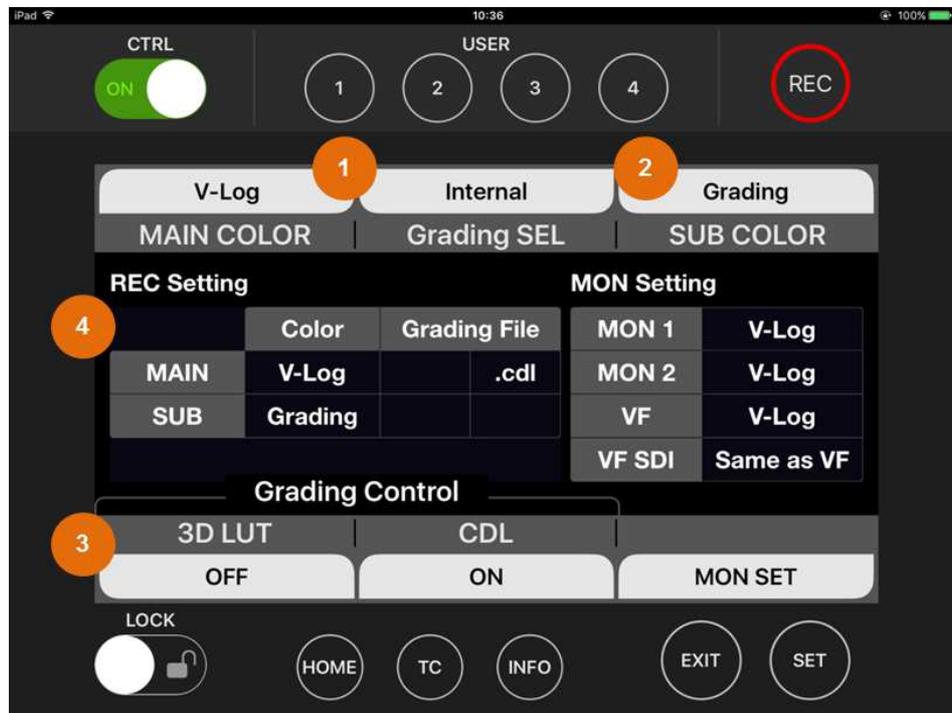


図 10 COLOR 画面

### 1. MAIN COLOR / Grading SEL

タップすると各設定画面に移動します。

<Note>

設定項目および選択値の詳細についてはカメラレコーダーの取り扱い説明書を参照してください。

### 2. SUB COLOR (VARICAM LT は PROXY COLOR)

タップすると SUB (PROXY) COLOR 設定を切り替えます。

### 3. 3D LUT / CDL / MON SET (VARICAM LT は 3D LUT/CDL/SDI SET)

タップすると各設定画面に移動します。

### 4. COLOR 情報表示

カメラレコーダーの COLOR 情報を表示します。

<Note>

カメラレコーダーの機種および設定により表示内容は変化しますが、接続しているカメラレコーダーのコントロールパネルと同じ情報を表示します。

## ■SLOPE (CDL) 画面

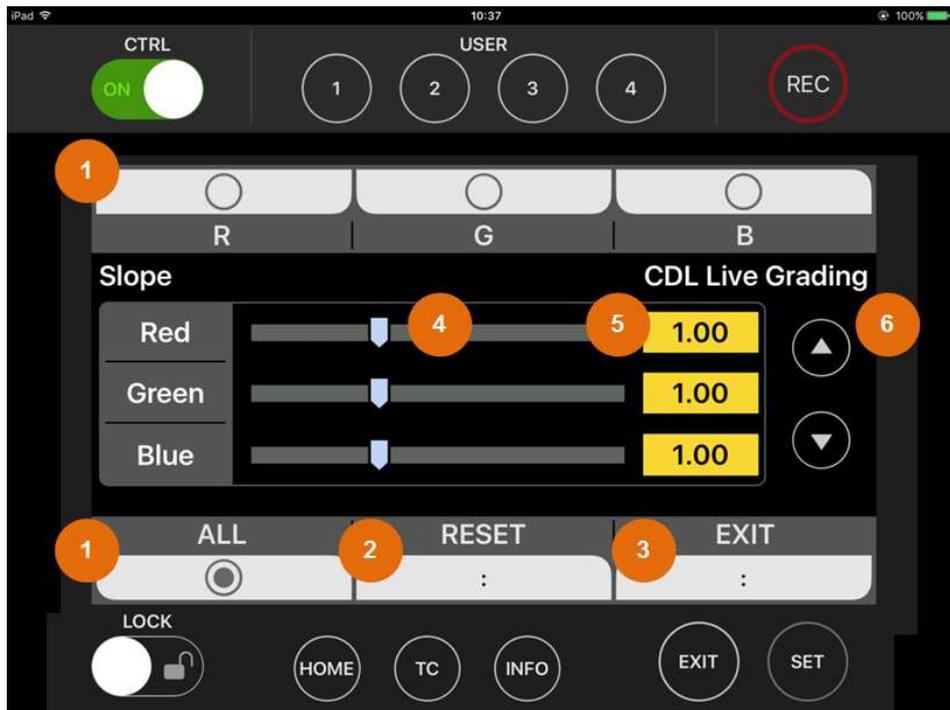


図 11 SLOPE (CDL) 画面

VARICAM ROP の Saturation、Slope、Offset、Power の各 CDL パラメータはカメラレコーダーのコントロールパネルと異なり、タップおよびスワイプ操作で設定を行います。

### 1.R / G / B / ALL

CDL の Slope、Offset、Power における設定対象の個別または全体選択。  
タップすると設定を切り替えます。

### 2.RESET

タップすると画面表示している設定を工場出荷値にリセットします。

<Note>

カメラレコーダーの設定値も操作と同時に変化します。

### 3.EXIT

タップすると CDL 画面に移動します。

### 4.スクロールバー

スクロールバーの任意の位置のタップまたはノブの左右スクラブ操作で設定値を変更します。

<Note>

カメラレコーダーの設定値も操作と同時に変化します。

## 5. 設定値表示

---

各設定の現在値を表示します。

## 6. 微調整ボタン

---

上下各ボタンをタップすることで設定対象の値を微調整します。

<Note>

カメラレコーダーの設定値も操作と同時に変化します。

## ■LOAD / SAVE (CDL) 画面

---

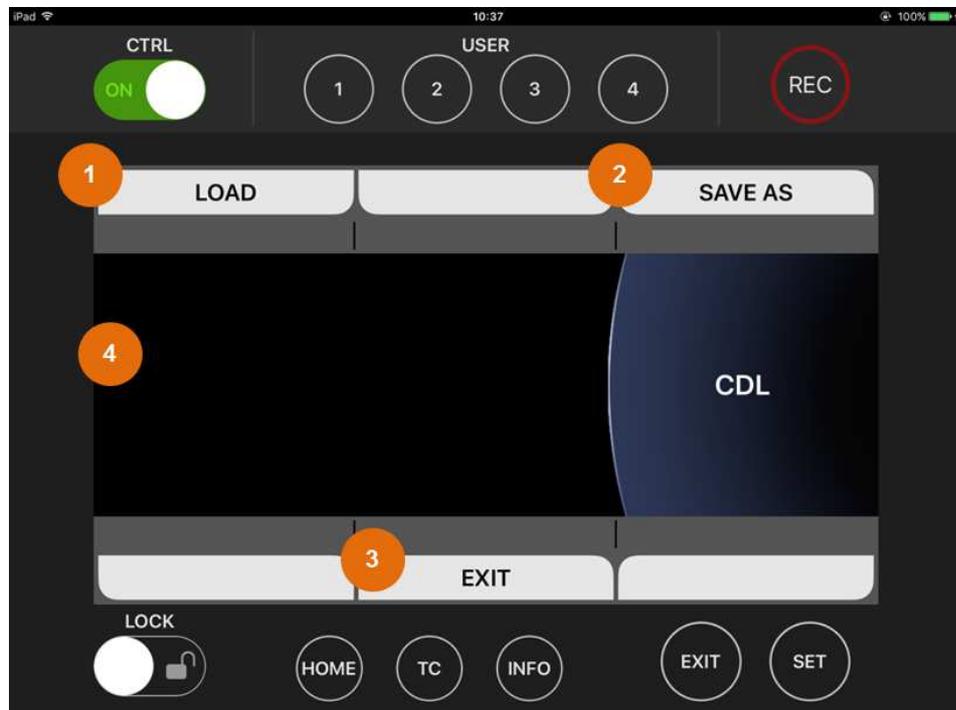


図 12 LOAD/SAVE (CDL) 画面

LOAD/SAVE 画面は CDL、3DLUT の両画面 (VARICAM35 は MAIN COLOR 画面にもあります) にありますがそれぞれの画面における操作方法は同じです。

### 1.LOAD

タップすると選択しているファイルのロードを実行します。  
ファイルが無い場合は何も行いません。

### 2.SAVE AS

タップするとファイル名入力画面に移動します。

### 3.EXIT

タップすると一つ前の画面に戻ります。

### 4.ファイルリスト表示

カメラレコーダーに挿入されたメディアに入っているファイルリストを表示します。  
ファイルが複数ある場合は上下スワイプで選択ファイルを変更します。  
ダブルタップで選択ファイルのロードを実行します。

## ■ファイル名入力(CDL)画面

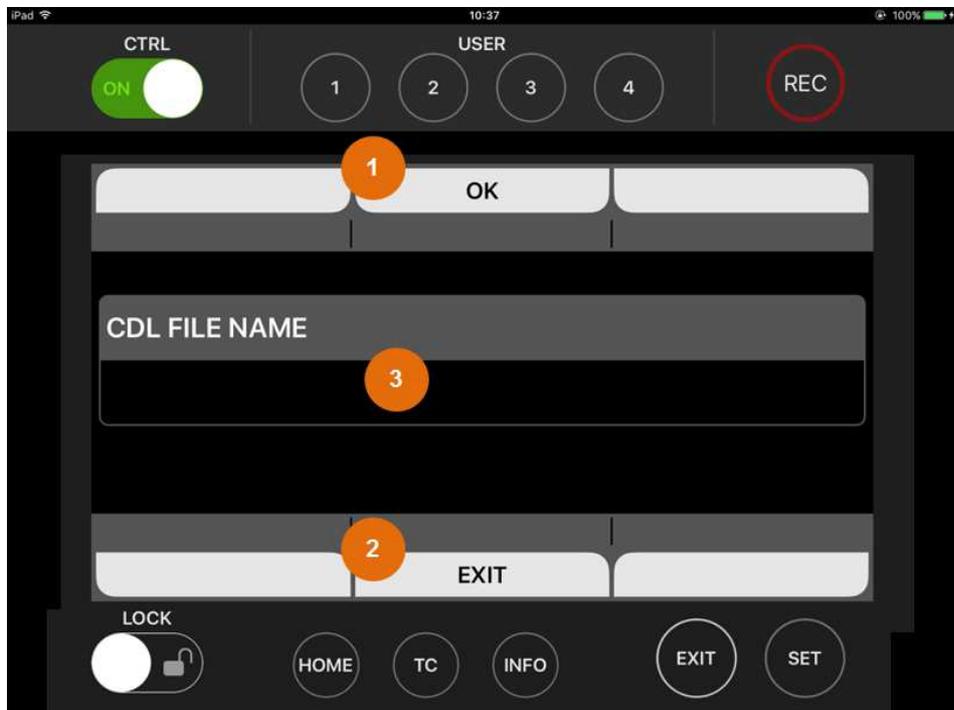


図 13 ファイル名入力(CDL)画面

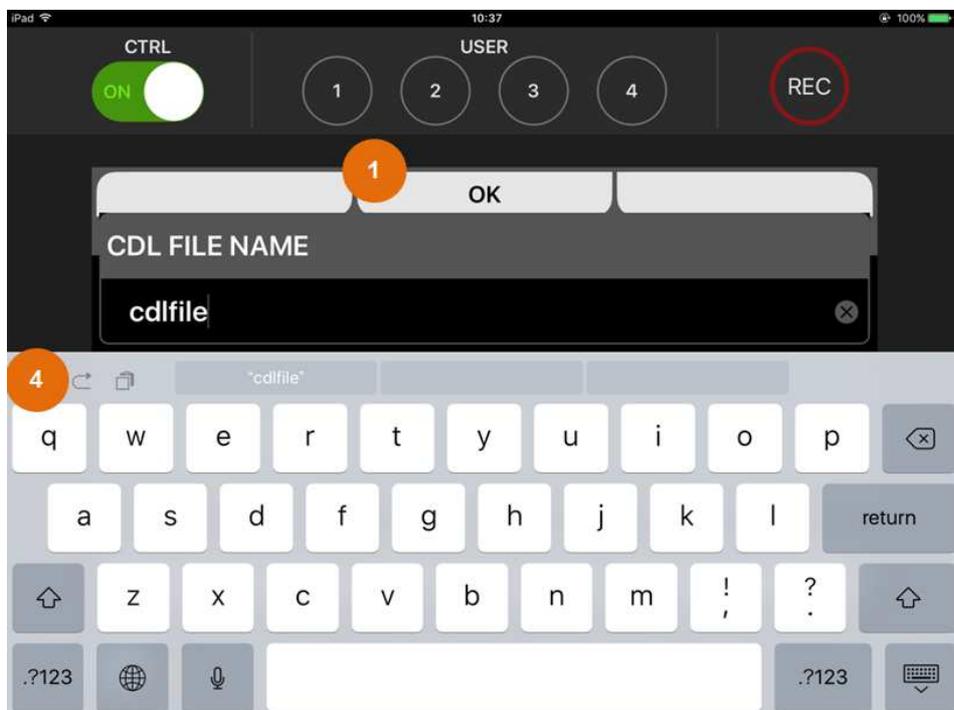


図 14 ファイル名入力(CDL)画面(ソフトキーボード表示)

ファイル名入力画面には CDL、3DLUT の各 LOAD/SAVE 画面の SAVE AS をタップすることで移動します。

### 1.OK

---

タップすると入力したファイル名でのセーブを実行します。

### 2.EXIT

---

タップすると入力のキャンセルを行い一つ前の画面に戻ります。

### 3.ファイル名表示

---

入力中のファイル名を表示します。

ソフトキーボードが表示されていないときにタップすることでソフトキーボードを表示します。

### 4.ソフトキーボード

---

文字をタップすることでファイル名を入力します。

<Note>

ファイル名に対応していない文字はタップしても入力に反映されません。

ファイル名の長さが8文字を超えた場合もタップしても入力に反映されません。

## ■SHUTTER 画面

カメラレコーダー本体のシャッタースピード設定を行う画面です。



図 15 SHUTTER 画面



図 16 SHUTTER ADD 画面

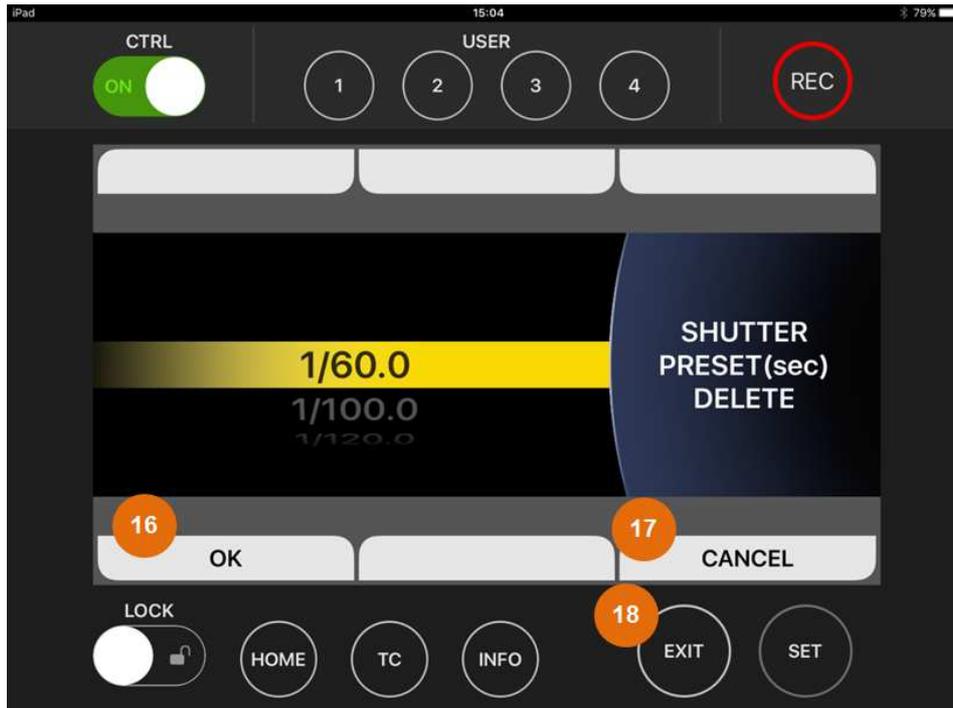


図 17 SHUTTER DELETE 画面

#### 1. OFF / ON

タップするとシャッターの ON、OFF を切り替えます。

#### 2. PRESET / SYNCHRO (VARICAM 35/HS のみ)

タップするとシャッタースピードの選択モードを切り替えます。

<Note>

VARICAM ROP では SYNCHRO モードでのシャッタースピード選択動作には対応していません。

#### 3. deg /sec

タップするとシャッター設定の単位を切り替えます。

#### 4. シャッタースピード値

上下スワイプでシャッタースピードを選択します。

ダブルタップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

<Note>

スワイプによる選択変更の時点ではカメラレコーダーの設定は変化しません。

カメラレコーダーの設定が変化するのはダブルタップまたは SET ボタンによる確定後です。

#### 5. EXIT ボタン

タップすると HOME 画面に戻ります。

---

## 6. SET ボタン

タップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

---

## 7. ADD

タップすると SHUTTER の ADD 画面に移動します。

---

## 8. DELETE

タップすると SHUTTER の DELETE 画面に移動します。

---

## 9. MAX/MIN

タップすると SHUTTER の ADD 候補の値を最大値→最小値でトグルします。

---

## 10. ±HUNDREDS

タップすると SHUTTER の ADD 候補の値を±100します。(SHUTTER が sec の場合は分子の値が対象です)

該当値が存在しない場合は近似値に丸めます。

---

## 11. ±TENS

タップすると SHUTTER の ADD 候補の値を±10します。(SHUTTER が sec の場合は分子の値が対象です)

該当値が存在しない場合は近似値に丸めます。

---

## 12. ADD SHUTTER 値

ダブルタップすると1回目は ADD 候補の選択幅を小数値まで拡張します。2回目で SHUTTER の ADD 操作を確定して SHUTTER 画面に戻ります。

---

## 13. ADD SHUTTER 微調整ボタン

タップすると SHUTTER の ADD 候補の値を一つ前または後の値に変更します。

---

## 14. EXIT ボタン

タップすると ADD 操作をキャンセルして SHUTTER 画面に戻ります。

---

## 15. SET ボタン

タップすると1枚目は ADD 候補の選択幅を小数値まで拡張します。2回目で SHUTTER の ADD 操作を確定して SHUTTER 画面に戻ります。

---

## 16. OK

タップすると SHUTTER の DELETE 操作を確定して SHUTTER 画面に戻ります。

## 17. CANCEL

---

タップすると SHUTTER の DELETE 操作をキャンセルして SHUTTER 画面に戻ります。

## 18. EXIT ボタン

---

タップすると SHUTTER の DELETE 操作をキャンセルして SHUTTER 画面に戻ります。

## ■EI 画面

カメラレコーダー本体の感度設定を行う画面です。

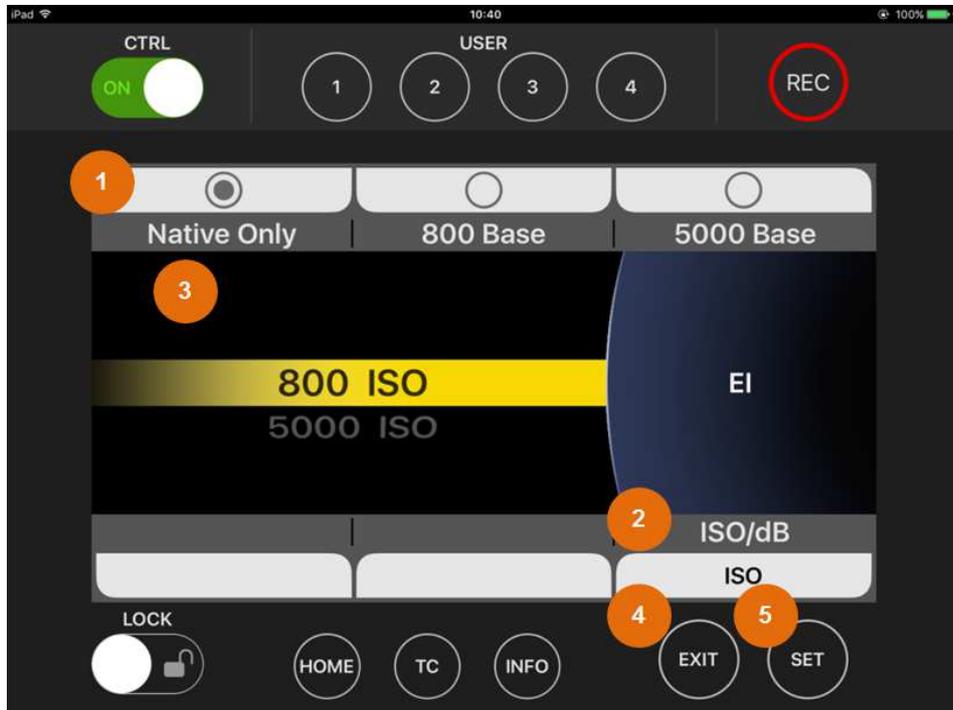


図 18 EI 画面

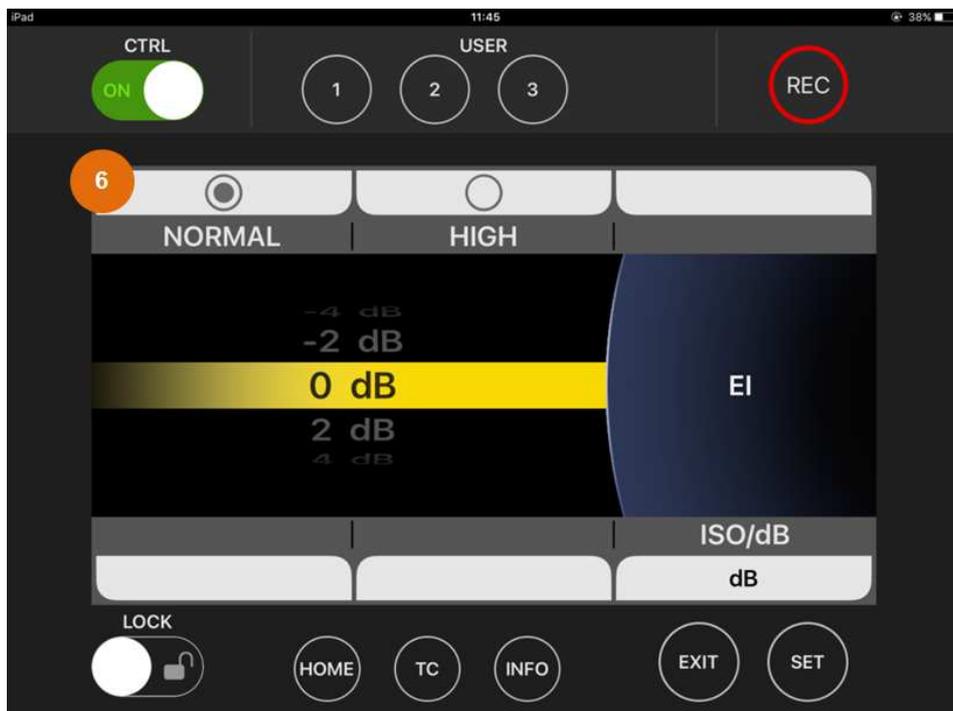


図 19 EI(DB)画面

## 1. ネイティブ ISO / ISO800 基準 / ISO5000 基準 (VARICAM 35/LT のみ)

---

設定方法で ISO を選択しているときにタップすると ISO 基準の設定を切り替えます。

<Note>

設定方法で ISO を選択していても選択ができない場合があります。

## 2. ISO / dB(設定方法)

---

タップすると EI(EXPOSURE INDEX)の設定方法を切り替えます。

<Note>

カメラレコーダーの設定によっては設定方法が ISO 固定になることがあります。

## 3. 感度設定値

---

上下スワイプで感度を選択します。

ダブルタップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

<Note>

スワイプによる選択変更の時点ではカメラレコーダーの設定は変化しません。

カメラレコーダーの設定が変化するのはダブルタップまたは SET ボタンによる確定後です。

## 4. EXIT ボタン

---

タップすると HOME 画面に戻ります。

## 5. SET ボタン

---

タップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

## 6. NORMAL/HIGH ボタン (VARICAM LT のみ)

---

設定方法で dB を選択しているとき、ゲインの NORMAL/HIGH を切り替えます。

## ■ SYSTEM MODE 画面

---

カメラレコーダー本体のシステム設定を行う画面です。

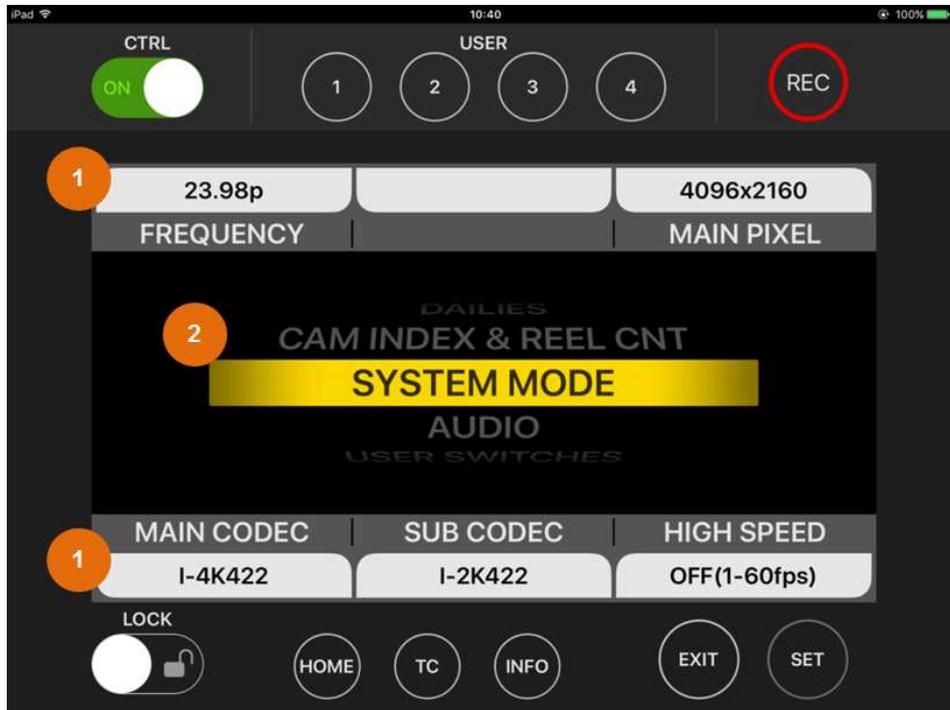


図 20 SYSTEM MODE 画面

### 1. システム設定項目

---

タップすることで各設定項目の設定値選択画面に移動します。

SUB CODEC (VARICAM LTはPROXY CODEC)を除く設定を変更すると表示している設定を反映してカメラレコーダーを再起動するかどうか確認する画面が表示されます。

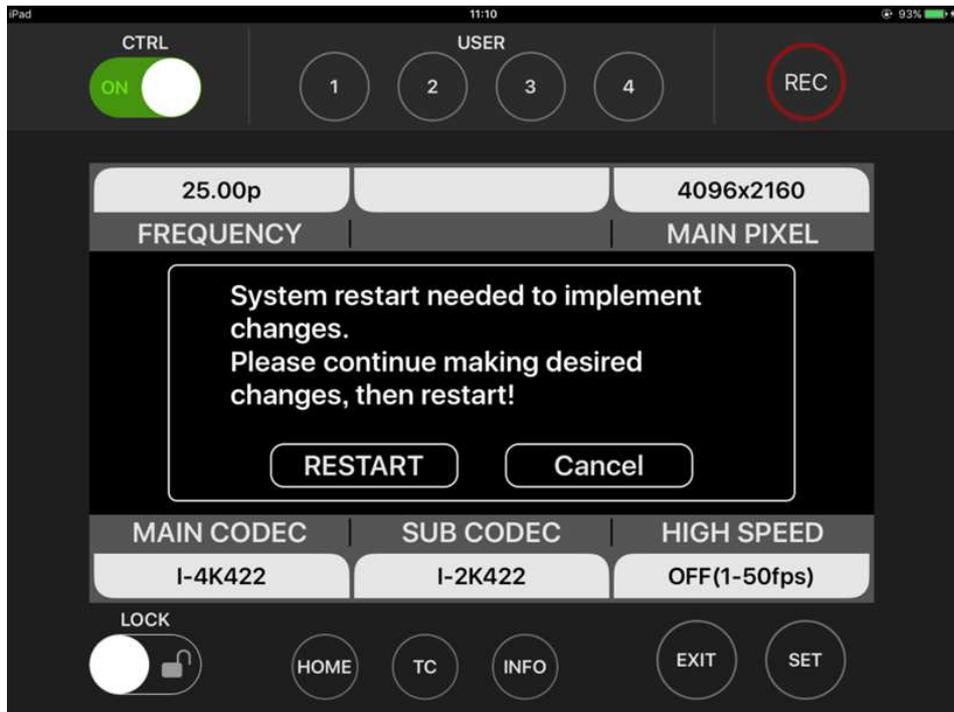


図 21 SYSTEM MODE 確認画面

確認画面で RESTART をタップするとカメラレコーダーは再起動するため、VARICAM ROP アプリケーションを終了して再接続後に VARICAM ROP アプリを実行しなおす必要があります。  
 確認画面で Cancel をタップすると確認画面は消えてそれまでの変更内容は破棄されます。

<Note>

表示される設定項目は接続するカメラレコーダーの種類および設定によって異なります。  
 設定項目および選択値の詳細についてはカメラレコーダーの取り扱い説明書を参照してください。

## 2. システム設定項目の選択

上下スワイプで設定項目を切り替えます。

<Note>

カメラレコーダーの種類、設定によって選択可能な設定項目は異なります。

## ■CAM & REEL 画面

---

カメラレコーダー本体の記録ファイルに関する設定を行う画面です。

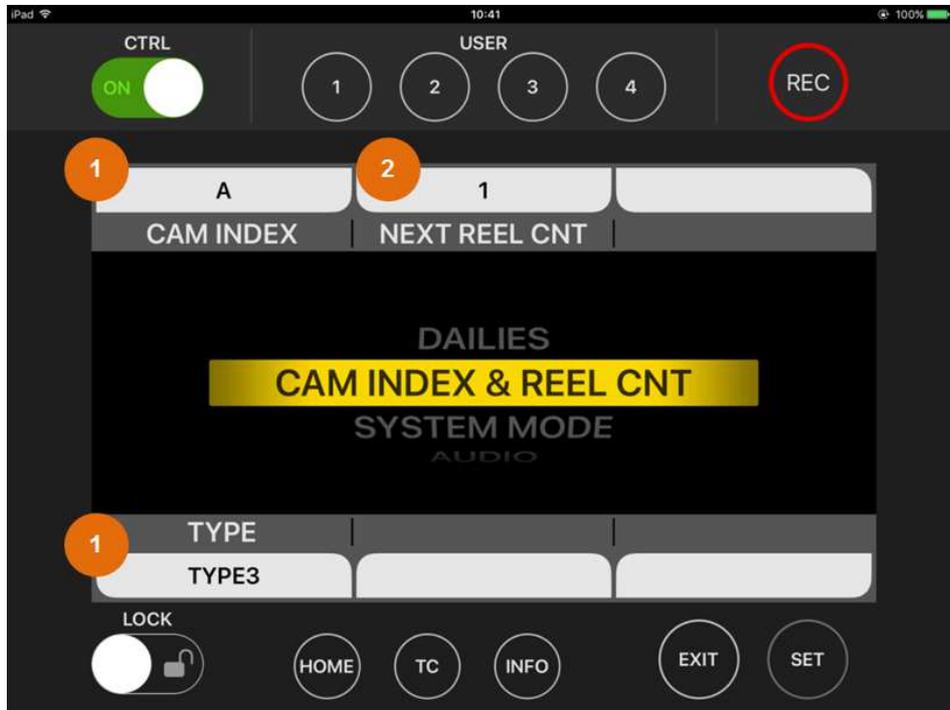


図 22 CAM INDEX & REEL CNT 画面

### 1. CAM INDEX / TYPE

---

タップすることで各設定項目の設定値選択画面に移動します。

<Note>

TYPE 項目はカメラレコーダーの種類または設定により選択できないことがあります。

### 2. NEXT REEL CNT

---

タップすることで NEXT REEL CNT 設定画面に移動します。



図 23 NEXT REEL CNT 設定画面

### 3. CANCEL / EXIT ボタン

タップすることでキャンセルして CAM INDEX&REEL CNT 画面に戻ります。

### 4. RESET

タップすることで値を工場出荷値(001)に変更します。

### 5. DONE

タップすることで値を確定して CAM INDEX&REEL CNT 画面に戻ります。

### 6. NEXT REEL COUNT 値

設定を変更したい桁をタップすることで変更対象の桁を移動します。

上下スワイプにより変更対象の桁の値を変更します。

### 7. SET ボタン

タップすると変更対象の桁を右に移動します。

変更対象が右端のフレーム桁のときは設定を確定して CAM INDEX&REEL CNT 画面に戻ります。

## ■DAILIES 画面

---

カメラレコーダー本体のサブレコーダーに記録する映像に重畳する情報設定を行う画面です。

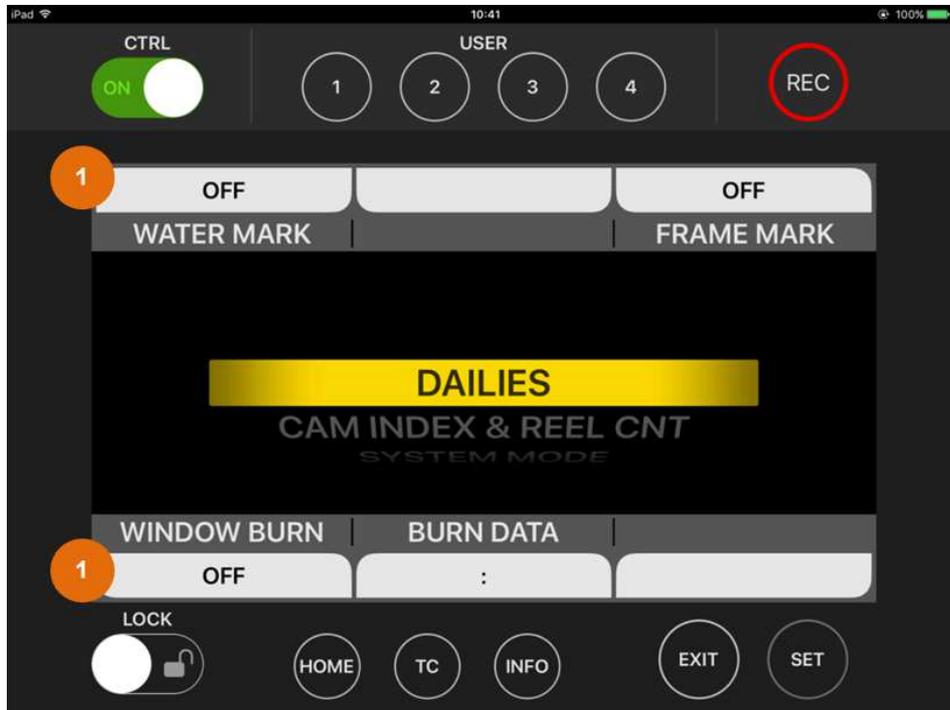


図 24 DAILIES 画面

<Note>

DAILIES 画面はカメラレコーダーの種類または設定により選択できないことがあります。

### 1. WATER MARK / FRAME MARK / WINDOW BURN / BURN DATA

---

タップすることで各設定項目の設定値選択画面に移動します。

<Note>

設定項目および選択値の詳細についてはカメラレコーダーの取り扱い説明書を参照してください。

## ■CHAR EDIT 入力画面

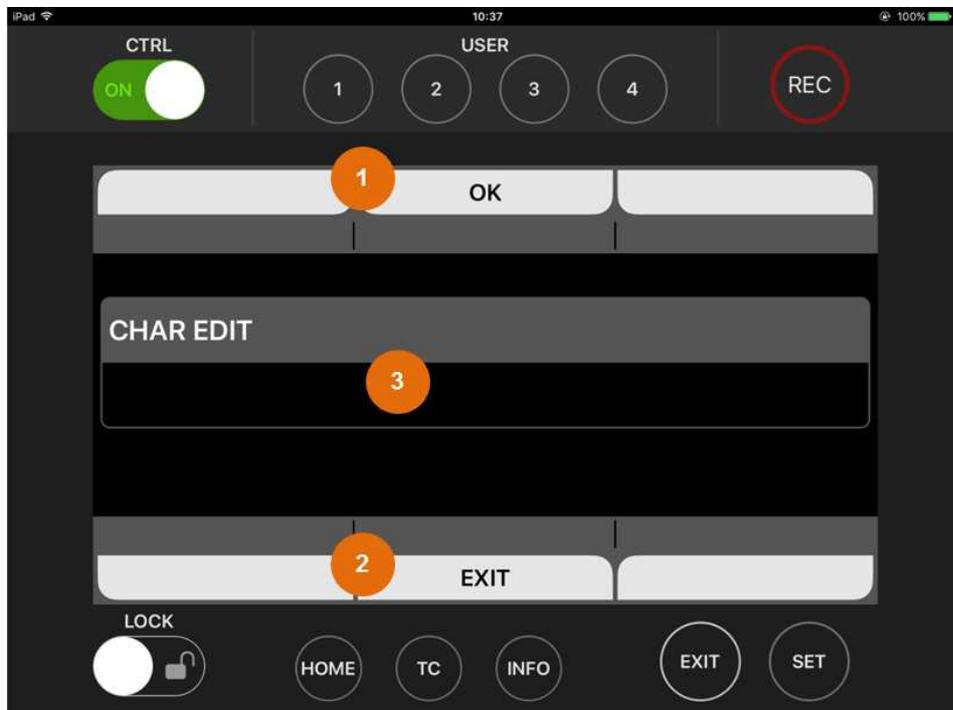


図 25 CHAR EDIT 入力 (WATER MARK) 画面

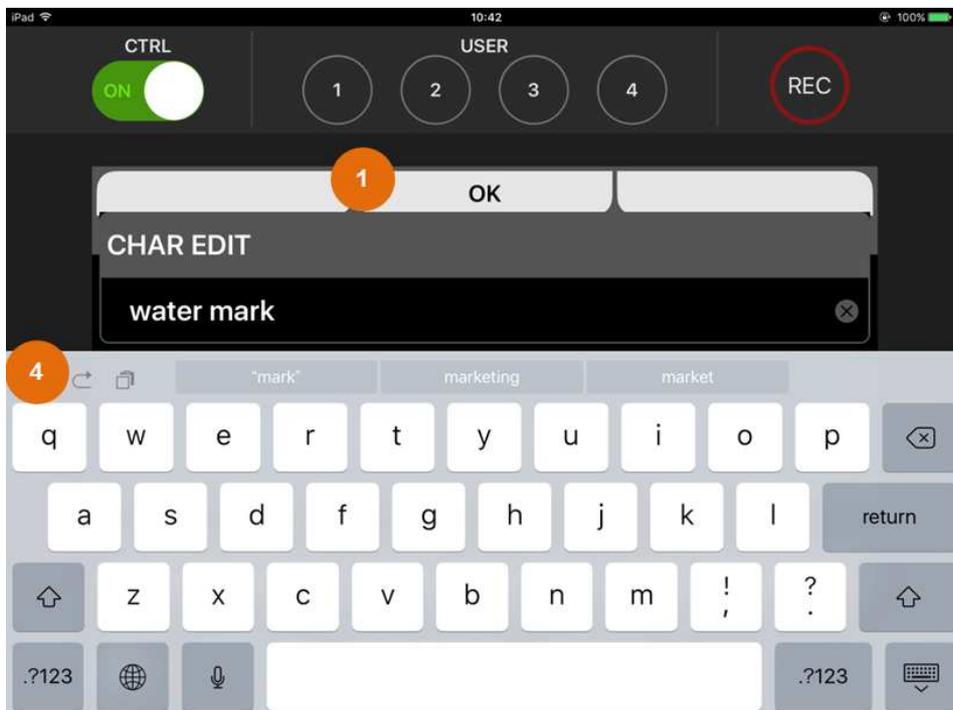


図 26 CHAR EDIT 入力 (WATER MARK) 画面 (ソフトキーボード表示)

CHAR EDIT(WATER MARK)および BURN DATA1~3(BURN DATA)の項目をタップすると文字入力画面に移動します。

#### 1.OK

---

タップすると入力した文字列を設定します。

#### 2.EXIT

---

タップすると入力のキャンセルを行い一つ前の画面に戻ります。

#### 3.ファイル名表示

---

入力中の文字列を表示します。

ソフトキーボードが表示されていないときにタップすることでソフトキーボードを表示します。

#### 4.ソフトキーボード

---

文字をタップすることで文字列を入力します。

<Note>

各設定項目で対応していない文字はタップしても入力に反映されません。

文字長が各設定の上限を超えた場合もタップしても入力に反映されません。

## ■AUDIO 画面

カメラレコーダー本体の音声設定を行う画面です。



図 27 AUDIO 画面

### 1. AUDIO VOL / AUDIO IN / AUDIO OUT

タップすることで各設定画面に移動します。

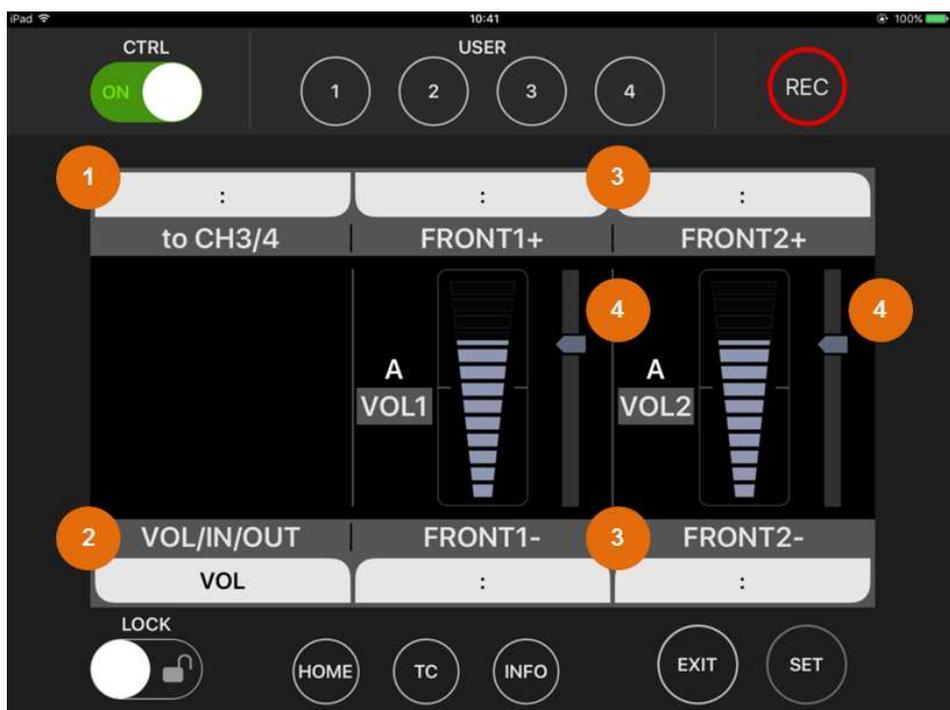


図 28 AUDIO VOL 設定画面

AUDIO VOL および AUDIO OUT ではオーディオレベル調整操作を画面上のスクロールバーを使って行うことが可能です。

### 1. 表示チャンネル切替

タップすることで設定表示を行うオーディオチャンネルのペアを変更します。

<Note>

VARICAM LT ではオーディオチャンネルのペア変更は MONITOR SEL 項目で行います。

### 2. オーディオ設定画面切替

タップすることでオーディオ設定画面を AUDIO IN→AUDIO OUT→AUDIO VOL の順で切り替えます。

<Note>

VARICAM LT では本項目はありません。

### 3. レベル微調整

タップすることで該当するチャンネルのオーディオレベルを+1または-1します。

<Note>

チャンネル設定が AUTO のときはタップしても変化しません。

### 4. レベル調整スクロールバー

スクロールバーの任意の位置のタップまたはノブの上下スクラブ操作で設定値を変更します。

<Note>

チャンネル設定が AUTO のときはスクロールバーの操作はできません。

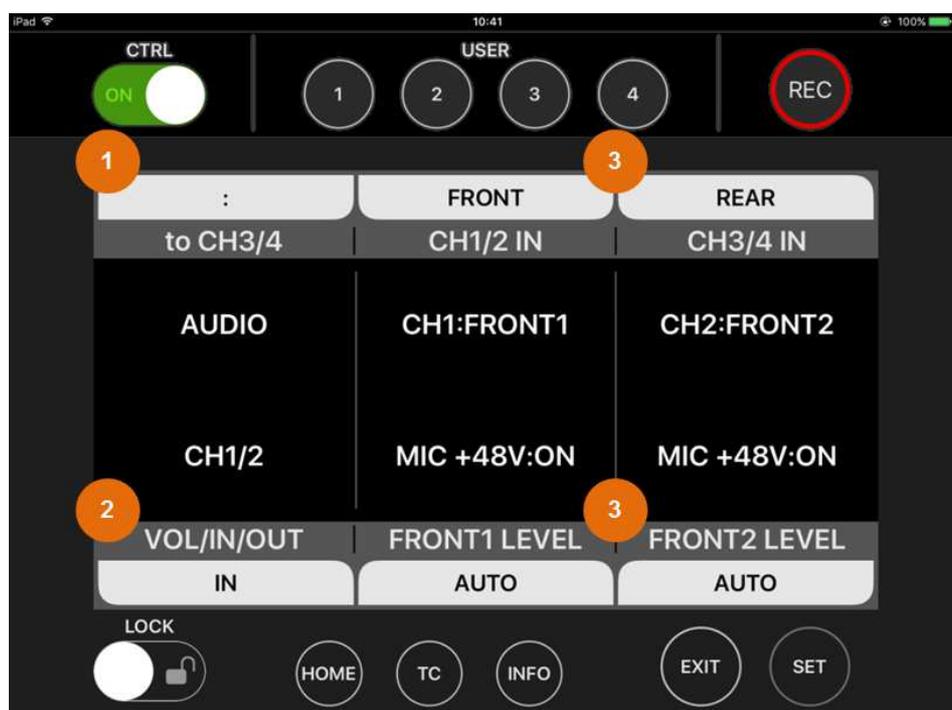


図 29 AUDIO IN 設定画面

AUDIO IN ではオーディオ入力設定を変更することができます。

### 1. 表示チャンネル切替

---

タップすることで設定を行うオーディオチャンネルのペアを変更します。

<Note>

VARICAM LT ではオーディオチャンネルのペア変更は MONITOR SEL 項目で行います。

### 2. オーディオ設定画面切替

---

タップすることでオーディオ設定画面を AUDIO OUT→AUDIO VOL→AUDIO IN の順で切り替えます。

<Note>

VARICAM LT では本項目はありません。

### 3. 入力設定

---

タップすることで該当するチャンネルの入力およびレベル設定を切り替えます。

## ■ USER SWITCHES 画面

カメラレコーダー本体の USER ボタンに割り当てる機能の設定を行う画面です。

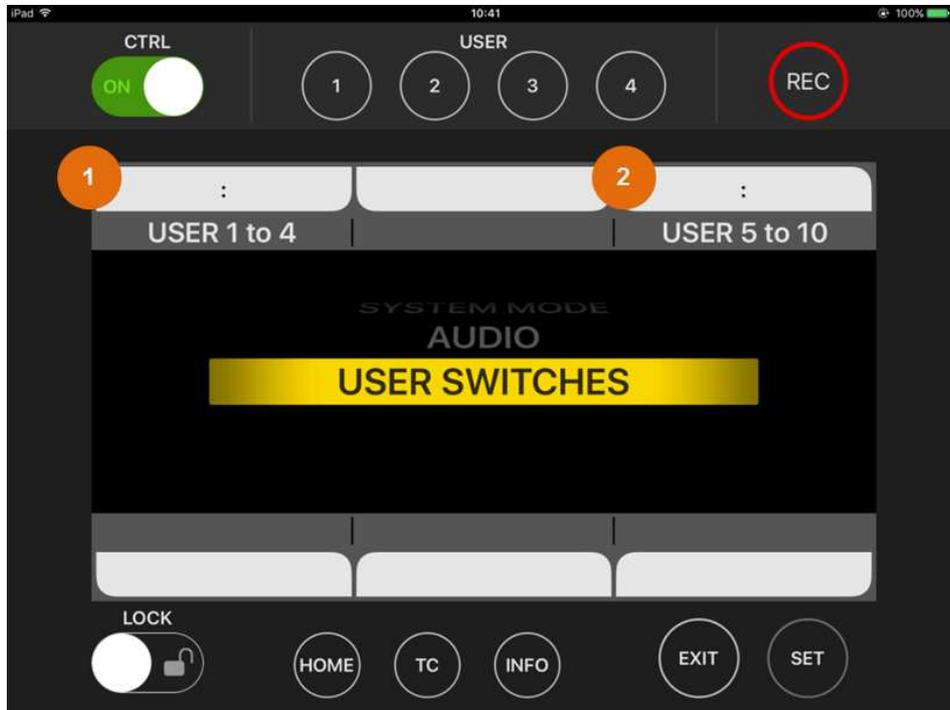


図 30 USER SWITCHES 画面

<Note>

VARICAM ROP アプリのみの設定画面で、カメラレコーダーのコントロールパネルの SYSTEM 設定には USER SWITCHES 項目はありません。

各ボタンの割り当てはカメラレコーダーの各 USER ボタンの割り当てと同期しているため、VARICAM ROP アプリで変更したときはカメラレコーダーの USER ボタンの割り当ても同時に変化します。

### 1. USER 1 to 4

タップすることで USER1 から USER4 ボタンの機能割り当て画面に移動します。

<Note>

VARICAM LT では USER4 は対応していないため USER3 までの設定となります。

### 2. USER 5 to 10

タップすることで USER5 から USER10 ボタンの機能割り当て画面に移動します。

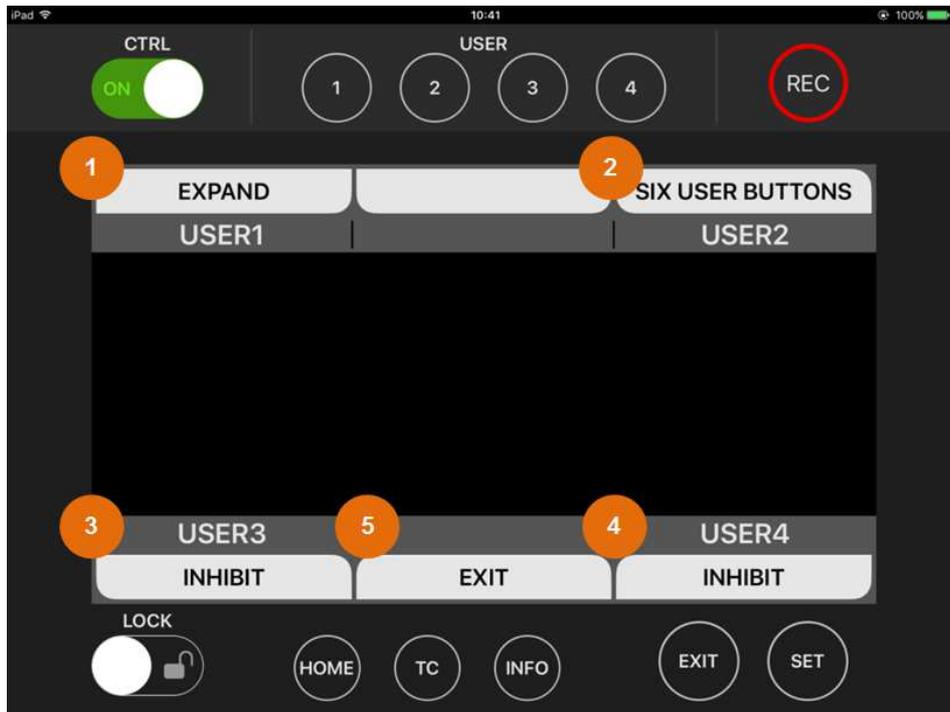


図 31 USER1 TO 4 機能割り当て画面

機能割り当て画面では各 USER ボタンの現在の設定が表示されます。

USER1 to 4 では USER1~4 スイッチ、USER5 to 10 では SIX USER BUTTONS 画面のスイッチの割り当てに対応します。

#### 1. ~ 4. USER1~USER4

タップすることで各ボタンの機能割り当ての変更画面に移動します。

#### 5. EXIT

タップすることで USER SWITCHES 画面に戻ります。

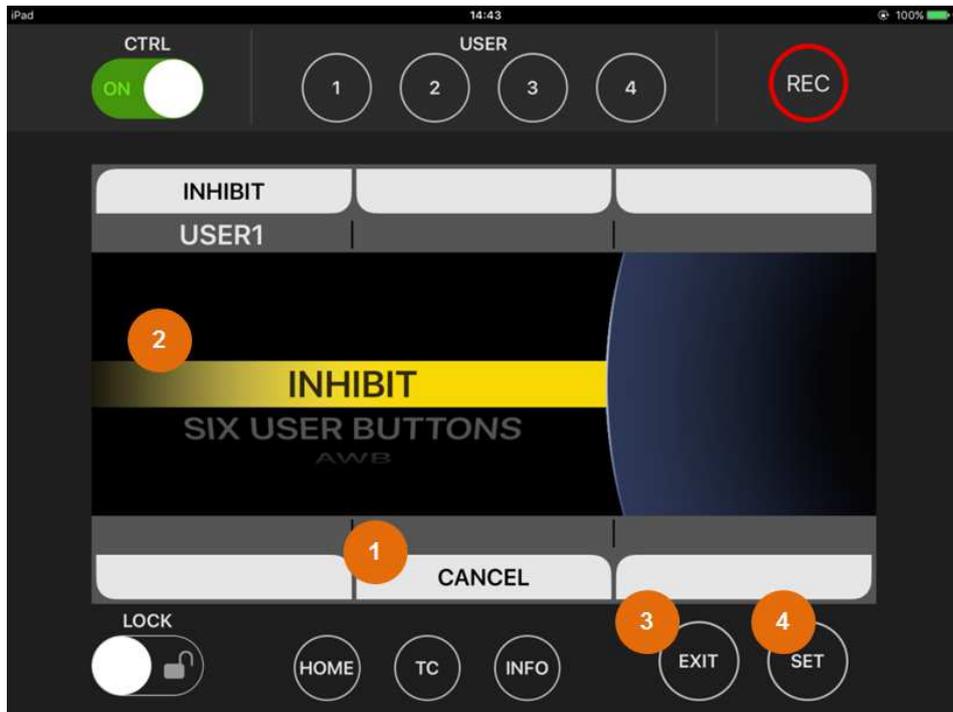


図 32 USER1 機能割り当て変更画面

機能割り当て画面では各 USER ボタンの現在の設定が表示されます。

USER1 to 4 では USER1~4 スイッチ、USER5 to 10 では SIX USER BUTTONS 画面のスイッチの割り当てに対応します。

#### 1. CANCEL

タップすることでキャンセルして USER1 to 4 画面に戻ります。

#### 2. 割り当て機能表示

上下スワイプすることで対象ボタンに割り当てることができる機能を選ぶことができます。ダブルタップすることで選択中の機能に割り当てを変更して USER1 to 4 画面に戻ります。

#### 3. EXIT ボタン

タップすることでキャンセルして USER1 to 4 画面に戻ります。

#### 4. SET ボタン

タップすることで選択中の機能に割り当てを変更して USER1 to 4 画面に戻ります。

## ■WHITE 画面

カメラレコーダー本体のホワイトバランス設定を行う画面です。

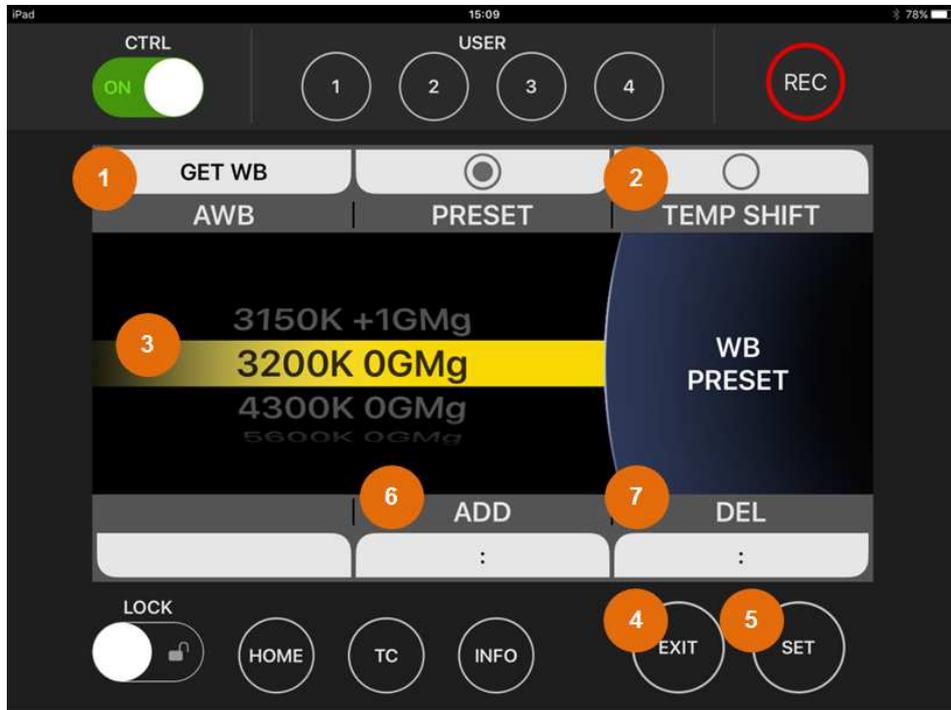


図 33 WHITE 画面

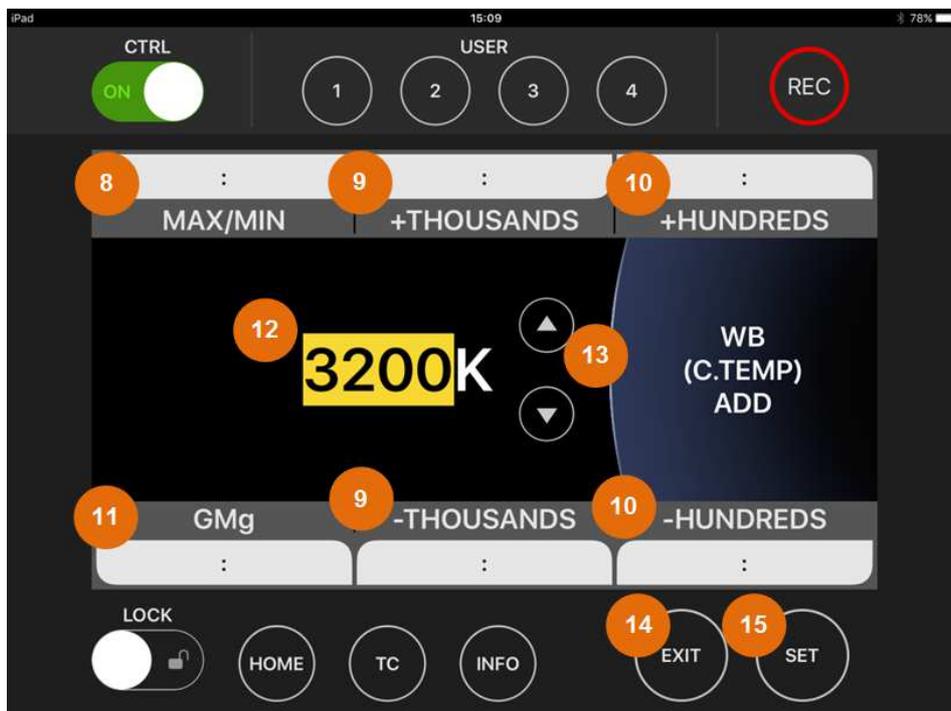


図 34 WHITE ADD(C.TEMP)画面

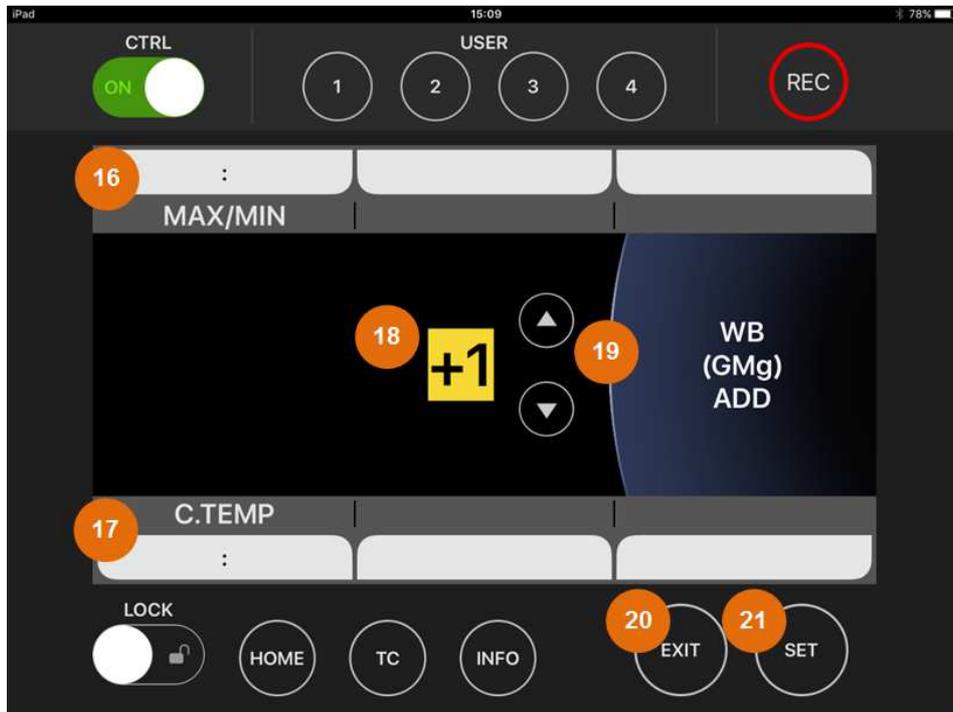


図 35 WHITE ADD(GMg)画面

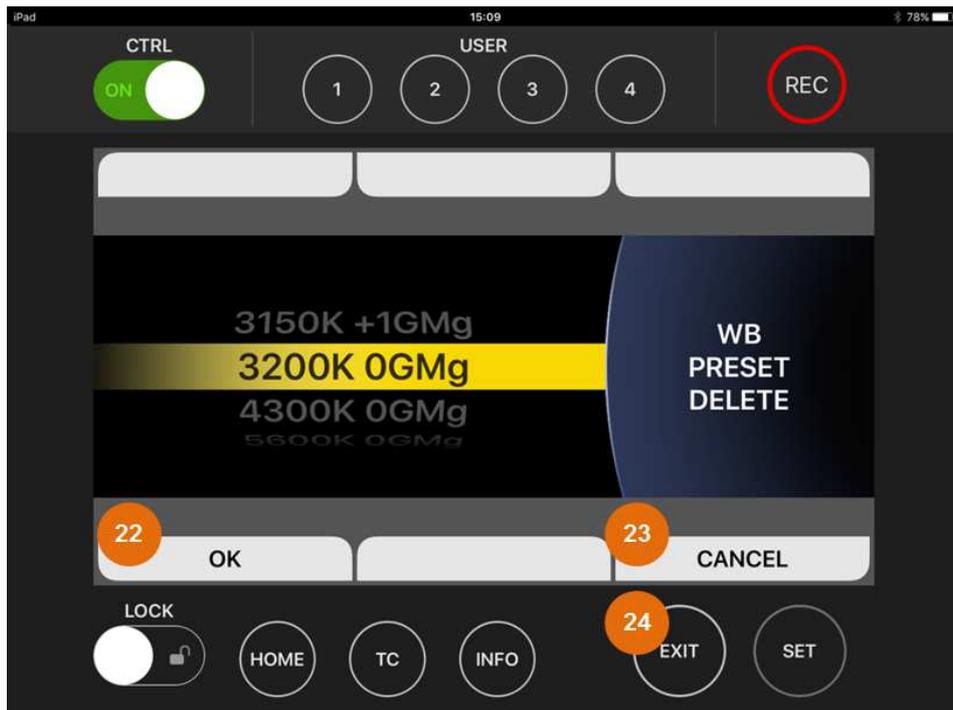


図 36 WHITE DELETE 画面

## 1. AWB

ホワイトバランス選択モードが PRESET のときにタップするとオートホワイトバランスを実行します。

<Note>

プリセット設定が接続先のカメラレコーダーで登録可能な最大数に到達している場合は VARICAM ROP アプリケーションの WHITE 画面で選択しているホワイトバランス値ではなくカメラレコーダーのその時点で選択されているホワイトバランス値が上書きされます。

### 2. PRESET / TEMP SHIFT (VARICAM 35/HS のみ)

---

タップするとホワイトバランスの選択モードを切り替えます。

<Note>

VARICAM ROP では TEMP SHIFT モードでのフレームレート選択動作には対応していません。

### 3. ホワイトバランス設定値

---

上下スワイプでホワイトバランスを選択します。

ダブルタップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

<Note>

スワイプによる選択変更の時点ではカメラレコーダーの設定は変化しません。

カメラレコーダーの設定が変化するのはダブルタップまたは SET ボタンによる確定後です。

### 4. EXIT ボタン

---

タップすると HOME 画面に戻ります。

### 5. SET ボタン

---

タップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

### 6. ADD

---

タップすると WHITE の ADD(C.TEMP)画面に移動します。

### 7. DELETE

---

タップすると WHITE の DELETE 画面に移動します。

### 8. MAX/MIN

---

タップすると C.TEMP の ADD 候補の値を最大値→最小値でトグルします。

### 9. ±THOUSANDS

---

タップすると C.TEMP の ADD 候補の値を±1000 します。

該当値が存在しない場合は近似値に丸めます。

### 10. ±HUNDREDS

---

タップすると C.TEMP の ADD 候補の値を±100 します。

該当値が存在しない場合は近似値に丸めます。

---

## 11. GMg

タップすると WHITE の ADD(GMg)画面に移動します。  
移動後も C.TEMP の値は維持されます。

---

## 12. ADD C.TEMP 値

ダブルタップすると WHITE の ADD 操作を確定して WHITE 画面に戻ります。

---

## 13. ADD C.TEMP 微調整ボタン

タップすると C.TEMP の ADD 候補の値を一つ前または後の値に変更します。

---

## 14. EXIT ボタン

タップすると ADD 操作をキャンセルして WHITE 画面に戻ります。

---

## 15. SET ボタン

タップすると WHITE の ADD 操作を確定して WHITE 画面に戻ります。

---

## 16. MAX/MIN

タップすると GMg の ADD 候補の値を最大値→最小値でトグルします。

---

## 17. C.TEMP

タップすると選択を確定して HOME 画面に戻ります。

---

## 18. ADD GMg 値

ダブルタップすると1回目は ADD 候補の選択幅を小数値まで拡張します。(VARICAM LT のみ)  
2回目で WHITE の ADD 操作を確定して WHITE 画面に戻ります。

---

## 19. ADD GMg 微調整ボタン

タップすると GMg の ADD 候補の値を一つ前または後の値に変更します。

---

## 20. EXIT ボタン

タップすると C.TEMP 画面に戻ります。  
移動後も GMg の値は維持されます。

---

## 21. SET ボタン

タップすると1回目は ADD 候補の選択幅を小数値まで拡張します。(VARICAM LT のみ)  
2回目で WHITE の ADD 操作を確定して WHITE 画面に戻ります。

---

## 22. OK

タップすると WHITE の DELETE 操作を確定して WHITE 画面に戻ります。

### 23. CANCEL

---

タップすると WHITE の DELETE 操作をキャンセルして WHITE 画面に戻ります。

### 24. EXIT ボタン

---

タップすると WHITE の DELETE 操作をキャンセルして WHITE 画面に戻ります。

## ■ SIX USER BTNS 画面

USER 5 – USER10 に割り当てられた機能を実行するための画面です。

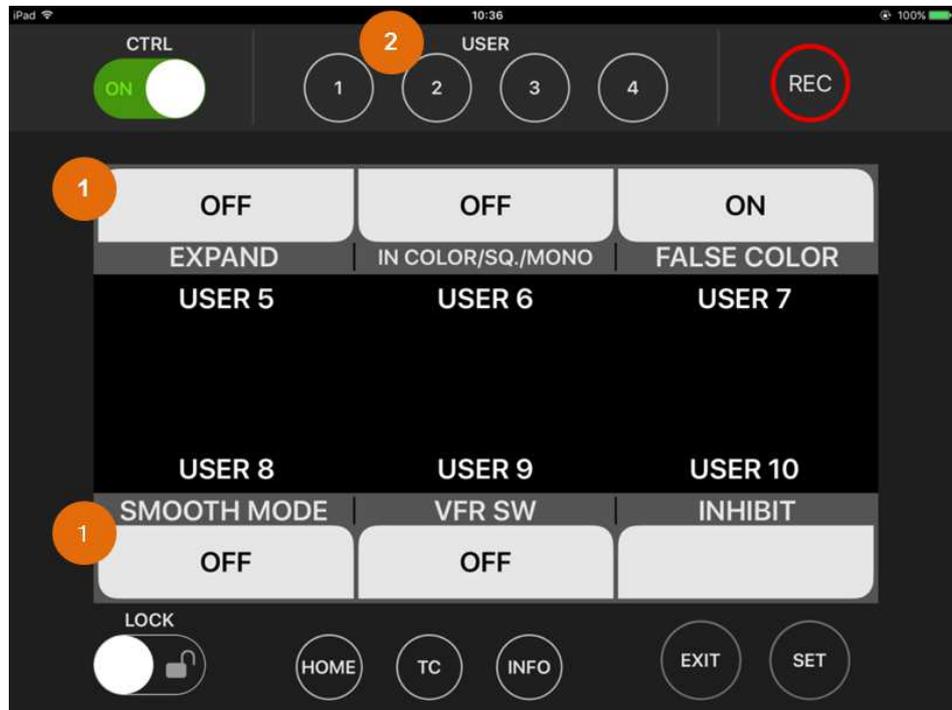


図 37 SIX USER BUTTONS 画面

USER1～4 ボタンに SIX USER BUTTONS 機能が割り当てられているときに対応するボタンをタップすることで SIX USER BUTTONS 画面に移動します。

### 1. USER5～USER10

タップすることで各ボタンに割り当てた機能を実行します。

### 2. USER ボタン

SIX USER BUTTONS 機能が割り当てられたタップする度に SIX USER BUTTONS 画面と HOME 画面をトグルします。

<Note>

カメラレコーダー側のコントロールパネルに SIX USER BUTTONS 画面は表示しません。